

## 令和5年度 第1回羽島市特別支援教育連携協議会 (会議要旨)

日 時	令和5年6月29日(木) 午後2時00分～午後2時45分	
場 所	市民会館 第1会議室	
出席者	<p><b>【出席委員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中校長会を代表する者)</li> <li>・特別支援コーディネーターを代表する者</li> <li>・特別支援教育助成会を代表する者</li> <li>・学識経験者</li> <li>・羽島市医師会代表</li> <li>・教育委員会事務局を代表する者</li> <li>・羽島市社会事務所を代表する者</li> <li>・羽島市健幸福祉部課長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽島市内保育園及び幼稚園を代表する者</li> <li>・発達支援センター代表</li> <li>・羽島特別支援学校代表</li> <li>・羽島市手をつなぐ親の会代表</li> <li>・西部幼稚園長</li> </ul> <p><b>【事務局】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育課特別支援教育係長</li> </ul> <p><b>【欠席】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3名</li> </ul>
内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委嘱書交付</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 議事               <p style="margin-left: 20px;">令和5年度の羽島市の特別支援教育について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度羽島市特別支援教育                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県・羽島市の特別支援教育の動向</li> <li>・羽島市の特別支援教育の重点</li> </ul> </li> <li>(2) 令和5年度羽島市特別支援教育関係会務計画</li> <li>(3) 就学指導に関する調査資料について</li> </ol> </li> <li>4 ご指導</li> </ol>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年のうちから他者とのコミュニケーションがうまく取れない児童が増えているように感じる。関わる先生方は子供たちに寄り添い、日々努力している。個人(担任)だけに任せるのではなく、学校もしくは市単位で特別支援教育の体制を整え、一人一人の先生方を支えていけるとよい。</li> <li>・特別支援教育が重要視される中で、教員10年目までに特別支援の経験を積んでほしいという通知が出されている。そのため、教員1年目から支援学級の担任になるケースもある。先生方の困り感を軽減できるよう、教員の配置や人材育成をしていく必要がある。</li> <li>・4月から高等学校における通級による指導が始まっている。一貫した支援を大切にするのであれば個別の教育支援計画を活用し、確実な引継ぎを行うべきである。</li> <li>・教育相談をするうえで、本人や保護者との合意形成が大切である。また、合理的配慮とは、学校側が一方的に与えるものではない。本人や保護者に合意されたもので、本人にメリットとなる配慮である。</li> <li>・「リスクマネジメント」ではなく、「セーフティーマネジメント」の考え方が重要。何か起きてからではなく、何が起こるか想定して対応することを心掛けるべきである。</li> <li>・国や県では、特別支援教育に関する研修が位置付いている。オンデマンド配信でだれもが視聴することができる。こうした事業を広く活用するとよい。</li> <li>・近年、傷つきやすい子が増えている。こうした子が不登校になるケースが多くみられる。原因追及に目が行きがちだが、まずは、安心した環境を提供することを最優先に考えることが重要である。</li> </ul>	
	※特記事項 …… 特になし	